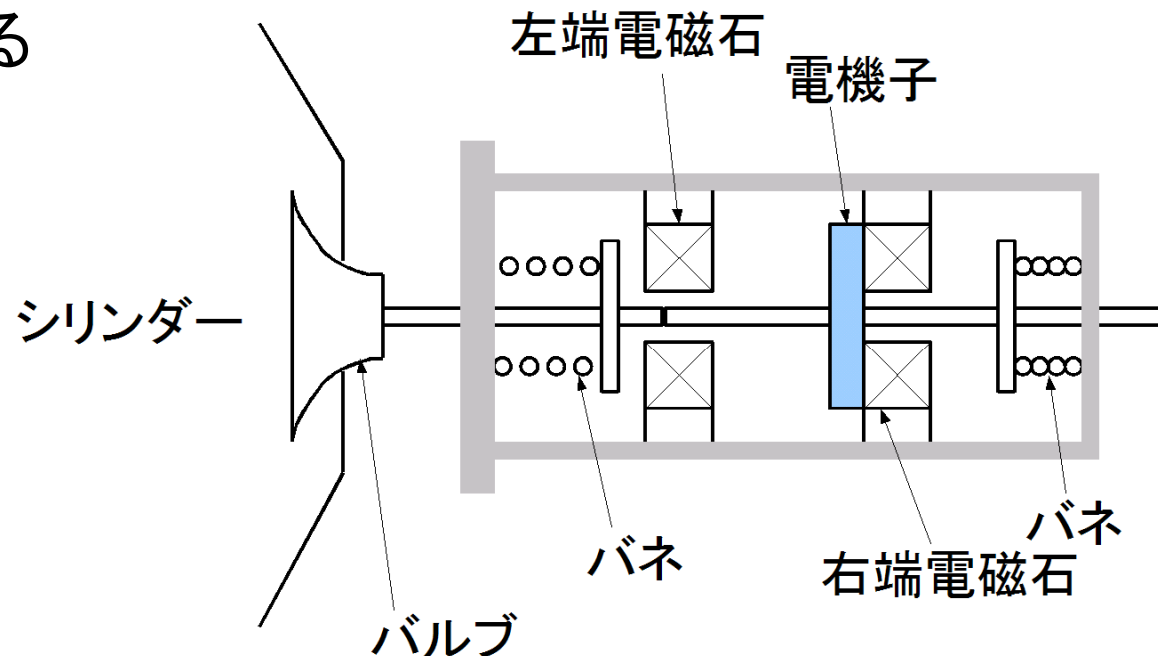


研究の目的:

1. 電機子が電磁石に 0.1 [m/s]未満の速度で接触する
2. 外乱やシステムの摂動に対してロバスト性を持たせる
3. 計算時間を短縮する

モデル予測制御:

- ・代数計算
- ・予測ホライズンを探索することで制約を満足



- ・吸引力だけを用いて所望の制御性能を達成
- ・ばね定数の変動に対してロバストな制御性能を得ることが可能